

Contents

ようこそ

福工大図書館へ

利用案内特集号

=図書館の“ima(今)”を伝えます=

- 館長ごあいさつ
- 利用GUIDE・フロアMAP
- 図書館を使いこなそう
- 図書館オリエンテーションのお知らせ
- 新着DVDが揃いました
- 先輩から後輩へのメッセージ
- 平成26年度貸出BEST 5



館長ごあいさつ



福岡工業大学附属図書館館長
阿山 光利

新生生の皆さん、そして在学生の皆さん、それぞれ新たなステージに立ち、これからますます充実したキャンパス生活を送られることを期待しています。

人は、生まれながらに社会的存在であると言われるように、多くの物事を見、多くの声を聞き、その内容を自らの中に取り入れていくことで、社会との適切な関係を保てる自身の内なる世界を形成していきます。大学生活は、とくに自らの在り方や生き方を考え、その後の社会生活や人生観に大きな影響を与える時期でもあります。

大学は、文化を継承しさらに創造していくなかで、「私」というバランスある人格を形成する場であり、その中核となるのが図書館です。

そこで図書館の役割や目標について考えると、大きく3つの柱があります。まず学習用図書や学習支援環境が整備され、さらに研究図書や資料を保存し活用できる場が提供されていることです。次に研究成果の情報を保管し、発信する機能を高める環境が整備されていることも重要です。最後に外部の機関との連携ならびに地域への広報と交流ができる場を創造していくことです。

これらの視点から、図書館を利活用する人々のニーズや学習形態など環境変化にしっかりと対応できる設計が必要となってきます。本学が目指す「知の拠点」に向けて、新たな出会いと、自らの価値を高める能動的な行動を支援する空間を創造していくとともに、学生一人一人が、将来への道標を築いていく上で、図書館が重要な起点となることを希望します。

利用GUIDE・フロアMAP



開館時間・休館日

開館時間

平日(月～金) 9:00～20:00
土曜日 9:00～17:00

休館日

日曜日・国民の祝日・夏季休館日・開学記念日(11月5日)・年末年始・その他館長が必要と認めた日

※定期試験中の日曜日・祝日など臨時開館することがあります。
臨時開館日は図書館ホームページ・学内掲示板でお知らせします。

入館するときは...

図書館入口...



本部棟
3階です



入館ゲートに学生証を通して...

ようこそ福工大図書館へ。
学生証を忘れた方は受付カウンターへお申し出ください。



利用上のマナー

- 飲食、雑談、携帯の利用はしないでください。(なお、蓋つきの飲み物のみ許可)
- 図書の切り取り、無断持ち出しはしないでください。
- 利用した図書は元の場所に戻してください。



各種サービス

- レファレンスサービス
必要な本の探し方、調べ方がわからないとき援助するサービスです。3階カウンターへお越しください。
- コピー機の使用
著作権の範囲内でコピーすることができます。個人の資料、ノート類はコピーできません。料金は1枚10円です。備え付けの「資料複写申込書」にご記入の上ご利用ください。
- その他
借りたい本が貸出中の場合は予約ができます。また、必要な資料が図書館にない場合、購入希望申込や他機関から資料を取り寄せることもできます。図書館カウンター、または図書館ホームページの「My Library」からお申し出ください。



貸出と返却

図書館資料の貸出期間について

利用区分	図書		雑誌	音楽CD
	冊数	日数		
一般学生	5冊	15日	2冊まで 15日	2点まで 8日
卒業研究生	8冊	60日		
大学院生	10冊	60日		
教職員	30冊	365日		

※資格就職、英語科、話題書、指定図書は利用区分にかかわらず貸出期間は15日間です。
※参考図書、新聞、AV資料など貸出のできない資料があります。

本を借りてみよう!



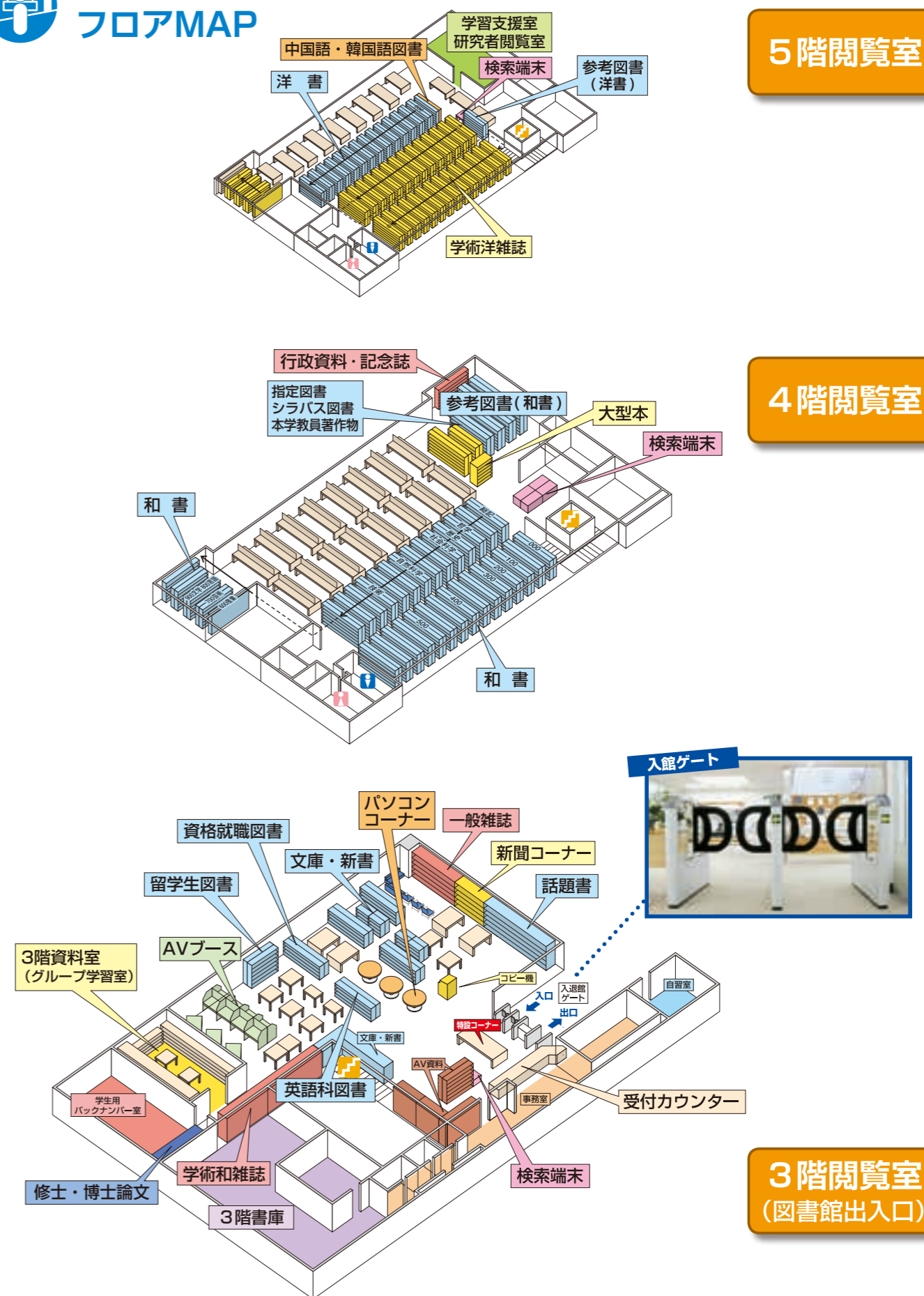
貸出 借りたい資料と学生証を3階カウンターまでお持ちください。

返却 借っていた資料を3階カウンターまでお持ちください。
閉館後は入口前の返却ポストに入れてください。
返却期限は必ずお守りください。

返却期限の過ぎた資料を返却された場合、その当日は本の貸出ができません。お気をつけください。



フロアMAP



図書館を使いこなそう

1 図書館ホームページ

http://www.lib.fit.ac.jp/

資料の検索はここから
P4 ②「必要な資料を検索してみよう！」へ
P6 ④「電子資料を使ってみよう！」へ

蔵書検索 (OPAC)
簡単検索はこちらから

個人専用ページ
P7 ⑤「My Library
を使ってみよう！」へ



最新情報は
ここでチェック!



年間開館情報が
確認できます。
(試験期間中など、
臨時開館する場合が
あります)

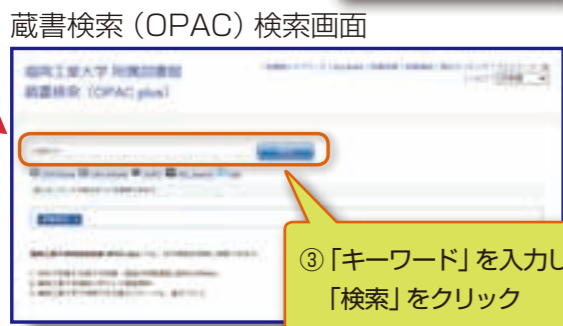
2 必要な資料を検索してみよう!

必要な資料は「蔵書検索 (OPAC)」を使って探します。蔵書検索は図書館ホームページからご利用ください。

ホームページのトップページ



キーワードを入力

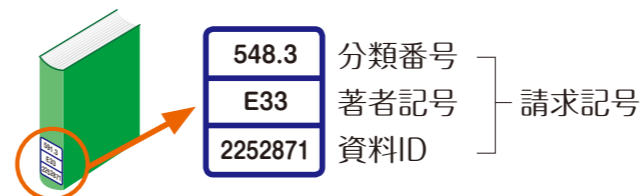


〈検索画面〉
書名や著者名など探したい資料の手がかりとなる「キーワード」を入力して検索します。
複数のキーワードを入力するときは間にスペースキーをいれます。



3 資料の並び方・書架の見方

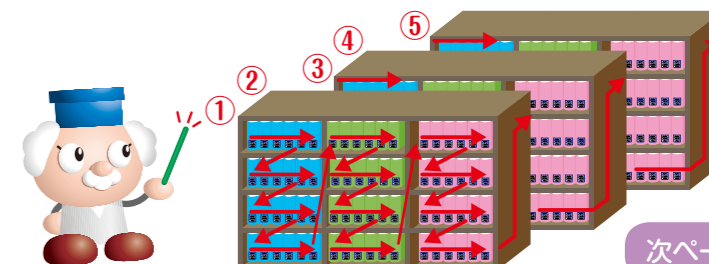
● 請求記号について



図書館の本には「背ラベル」と呼ばれる「請求記号」が書かれたシールが貼られています。上段の「分類番号」とは、NDC (日本十進分類法) に基づいて付けられた番号です。同じテーマの本には同じ分類番号が付与されているので、1冊目的の本にたどりつくと、近くの棚には類似資料が並んでいます。

● 書架 (棚) の見方

図書館内の資料は下記の2通りで並んでいます。
① 請求記号順・資料ID順
(小さい数字から大きい数字)
② 50音順、アルファベット順



〈検索結果画面〉

検索結果画面から見たい資料のタイトルをクリックします。
※「ファセット」を利用すると資料形態や所在などでデータの絞り込みができます。



検索結果詳細画面



〈検索結果詳細画面〉

「所在」「請求記号」を確認して資料のある場所へ移動します。資料は所在場所によって並び方が違います。館内の案内表示を参考にしてください。



※所在名をクリックすると館内案内図が表示されます。

One point!

アマゾン・googleのレビューがみれます

4

電子資料を使ってみよう！

図書館の資料は、本や雑誌だけではなく、電子ブックや電子ジャーナル、オンラインデータベースも皆さんが学習、研究を進めるにおいて重要な情報源となります。図書館ホームページから様々な電子資料の検索ができるようになっています。ぜひ活用してください。

図書館ホームページ → 「検索サービス」 → 「情報検索」 からご利用ください。
 ※電子リソースの利用は、供給元である出版社が使用許諾条件を定めています。



● 「電子ブック」と「電子ジャーナル」

電子ブックとは図書を電子化して、インターネット上で全文を読むことができるようにしたもので「E-Book」ともいいます。電子ジャーナルとは雑誌の記事・論文を電子化し、インターネット上で本文全文を読むことができるようにしたもので「E-Journal」ともいいます。

電子資料	図書館で使える主な電子資料	
電子ブック	Maruzen eBook Library	丸善が提供する電子ブックのプラットフォーム。書名や著者だけでなく全文検索も可能。ページごとにダウンロードし、PDF形式のファイルとして、保存・印刷することも可能。
電子ジャーナル	J-STAGE	日本の学協会が発行する学術雑誌の閲覧ができる。
	日経BP記事検索サービス	日経BP社が発行する約40誌の雑誌記事を検索、全文閲覧可能。パソコンスキルアップ・就職活動にも役立つ。
	その他 (国際電子ジャーナル)	IEL/INFOTRAC CUSTOM 250 Journals/ Nature/OECD iLibrary/ScienceDirect

● オンラインデータベース

データベースとは、必要なデータを効率的に検索できるようにしたものです。種類は、図書・雑誌の書誌情報や所蔵情報、雑誌論文や新聞記事を検索するものなどいろいろです。図書館が契約している主なデータベースは下記のようになっています。

種類	図書館で使える主なデータベース	
図書、雑誌を探す	CiNii Books	全国の大学図書館が所蔵する図書や雑誌を検索。
論文を探す	CiNii Articles	日本の学術論文を検索、機関定額制の範囲で閲覧可。
	JDream III	日本最大の科学技術文献データベース。
新聞記事を探す	日経テレコン21	日経各紙を検索し全文を閲覧。調査、研究に加え、就職活動の情報収集にも便利。
	ヨミダス文書館	読売新聞の記事を検索できるデータベース。

5

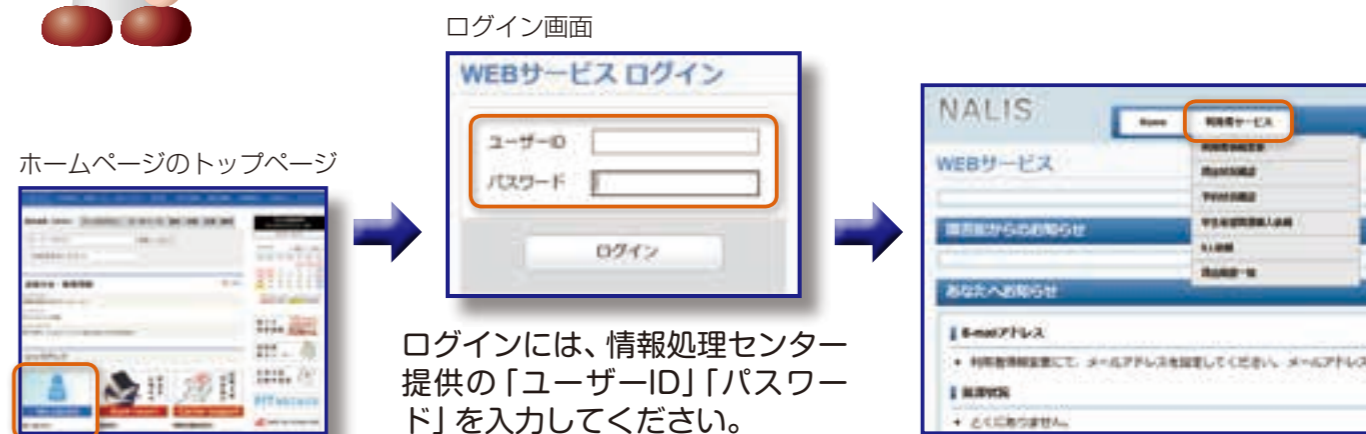
My Library を使ってみよう！

「My Library」とは、図書館を利用される皆さんの個人専用ページです。図書館の各種サービスをWEB上で利用できます。



「My Library」でできること

貸出状況確認／予約状況確認／図書購入依頼／ILL依頼（学外への文献複写・図書貸借申込み）／その他（貸出履歴一覧など）



6

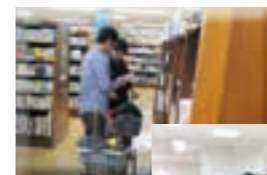
図書館イベントに参加！



選書ツアー【平成26年度2回実施】

図書館では「選書ツアー」というイベントを年に2回実施しています。参加学生メンバーに学生の目線で読みたい本・図書館に置いてほしい本を書店で選書してもらい、購入された本は、推薦理由を添えて話題書コーナーに配架されます。専門書から資格取得対策本、小説など毎回様々な本が選書されます。

現在展示中の「第13回選書ツアー図書」は昨年12月に実施しました。語学関連本やレシピ本など大学生活に使えるような本が並んでいます。興味のある方はぜひ図書館イベントにもご参加ください。



書店で選書



ツアーメンバー展示準備中



展示完成！（選書ツアーコーナー）

図書館オリエンテーションのお知らせ

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

大学は高校までの学習と違い、自分で調査・実験をして考察し、レポート作成、発表することが必要になります。図書館にはそのために必要な資料が揃っています。

大学生活の最初の一步は図書館から。学生の皆さんに効果的に図書館を活用していただくための「図書館オリエンテーション」を実施します。個人、ゼミやグループなど参加は自由です。この機会にぜひお申し込みください。

- 【申込受付】** 平成27年4月8日(水) から
- 【実施開始】** 平成27年4月15日(水) から
図書館カウンターでお申し込みください。日程を調整します。
- 【内容】** 館内ツアー、図書の探し方、図書館サービスについて など
- 【所要時間】** 40分～50分程度



3～4年生、大学院生の方へ

情報収集に必要な検索方法を学ぶガイダンスを6月から実施予定です。図書館契約データベースの特徴や検索方法、参考文献の見方などをご説明します。自分に必要な検索ツールを学んで効率的に情報収集し、卒業論文、修士論文の作成にお役立てください。

5月中旬に図書館掲示板や、ホームページなどで開催のお知らせをしますので、詳細はそちらからご確認ください。

新着 DVD が揃いました

この他にもたくさんのDVDがあります。ぜひご利用ください。

「ロード・オブ・ザ・リング」三部作など話題になった洋画、邦画のDVDを新しく購入しました。授業の合間の空いた時間に鑑賞したり、語学学習などにもお役立てください。

DVDは図書館AVブースでご覧いただけます。



先輩 から 後輩 へのメッセージ



平成27年3月
電気工学科卒
古賀 祐貴さん

この図書館報を読んでいる人にぜひ利用してもらいたい図書館のサービスがあります。

それは『本学の学生なら資料の購入リクエストができる』というサービスです。大学図書館に相応しい資料であれば原則5000円を目安に何冊でも申し込むことができます。申し込んだ資料は絶版の書籍は難しいで

すが、短ければ2週間弱、長くても1ヶ月で図書館に入り、リクエストした人が一番に読むことができます。私はこのサービスを利用して高額な翻訳された技術書を読むことが出来ました。とても助かるサービスですが、私の周りの人に紹介すると誰一人としてこのサービスを知っている人はいませんでした。まさかここまで知名度がないとは思いませんでした。そこで、今回このような場を貰ったので紹介してもらいました。紙面の都合で他のことについて触れることが出来ませんでしたが図書館を利用していくうちに便利なサービスがたくさんあることが分かってくると思います。みなさん、ぜひ図書館を利用し尽くしましょう！

平成26年度 貸出BEST 5

(2014.4.1-2015.2.28)

- 1位** 電子技術の基礎について図・例題を多く取り入れ、平易に解説
メカトロニクスのための電子回路基礎
西堀賢司著 コロナ社 (549.3/N81)
- 2位** 2014年本屋大賞受賞作！
村上海賊の娘〈上巻〉
和田竜著 新潮社 (913.6/W12)
- 3位** 少ない予算で手作り回路！実験装置のヒント集
研究室ですぐに役だつ電子回路
阿部寛著 工学図書 (549.3/A12)
- 4位** 蛍光X線分析法、粉末結晶のX線回析法を入門的に解説
X線分析法：機器分析実技シリーズ
大野勝美ほか著 共立出版 (433.5/O67)
- 5位** 和田竜エンタテインメント最高傑作！
村上海賊の娘〈下巻〉
和田竜著 新潮社 (913.6/W12)



FIT 学校法人
福岡工業大学

福岡工業大学 / 福岡工業大学短期大学部

附属図書館

図書館報 Vol.42 2015年4月発行

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

TEL (092) 606-0691 FAX (092) 606-7389

ホームページ <http://www.lib.fit.ac.jp> (スマホ対応)